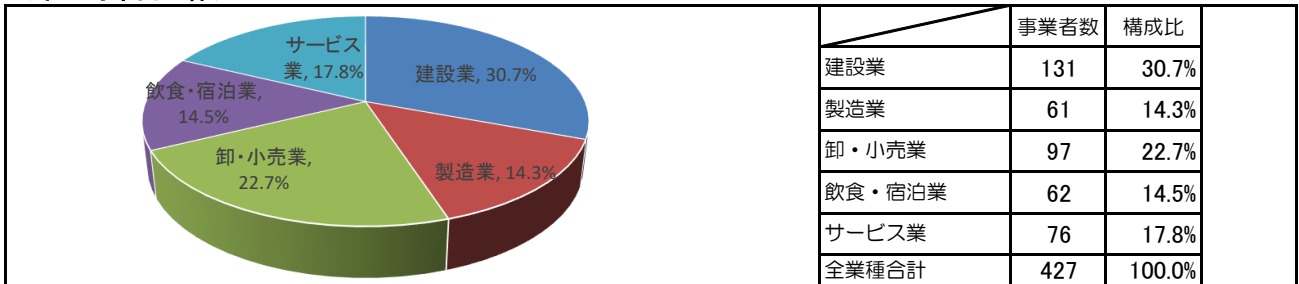


十日町市地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (R3.1.1~R3.3.31) 川西地区

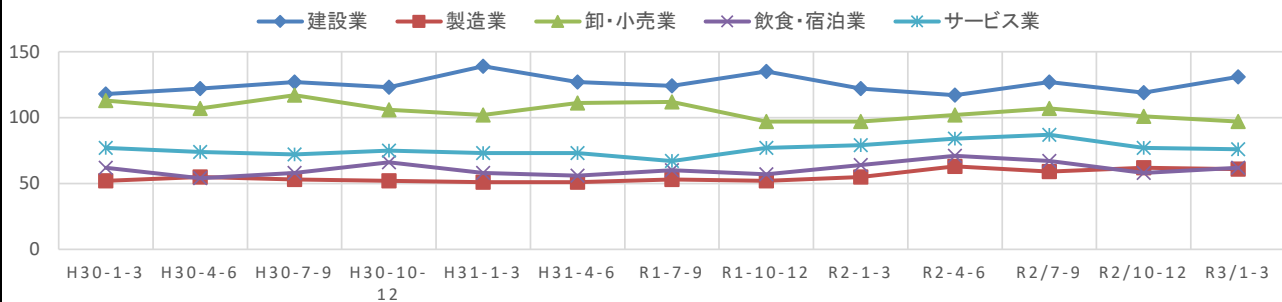
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



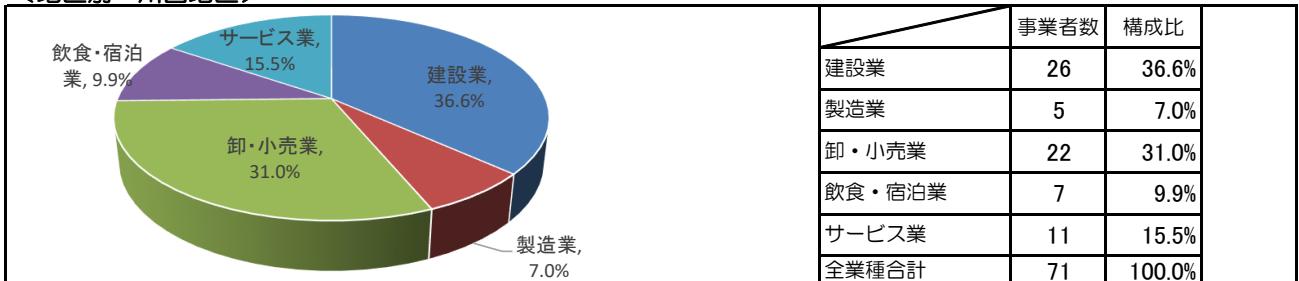
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



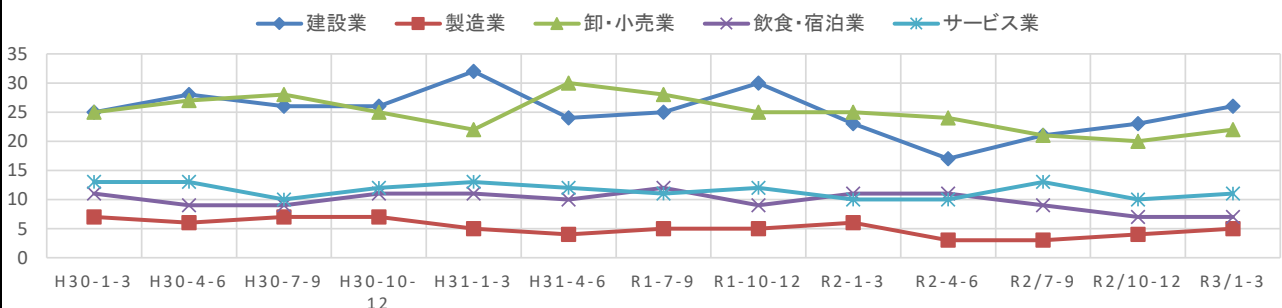
<コメント>

今回の調査は、十日町市内の427事業所から回答を得られ、前回調査よりも10事業所増加している。卸・小売業とサービス業の回答数が若干減少したものの、前回調査時の回答割合と大きな差は無いものとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

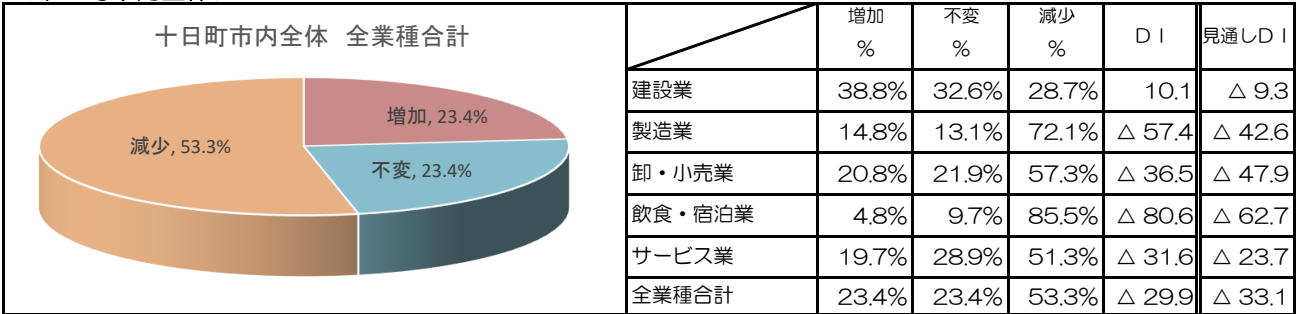
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、71社(回収率71%)からの回答を基にした集計結果である。飲食・宿泊業以外の全業種で回答数が増加しているが、回答割合については前回調査と同様になっている。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

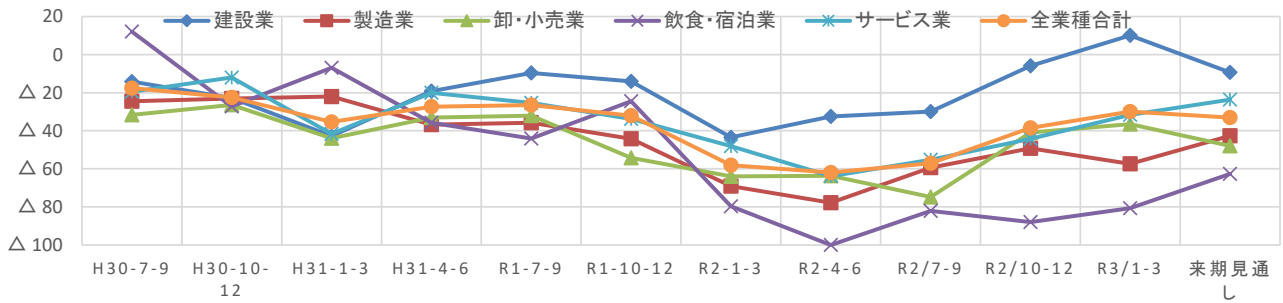
1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



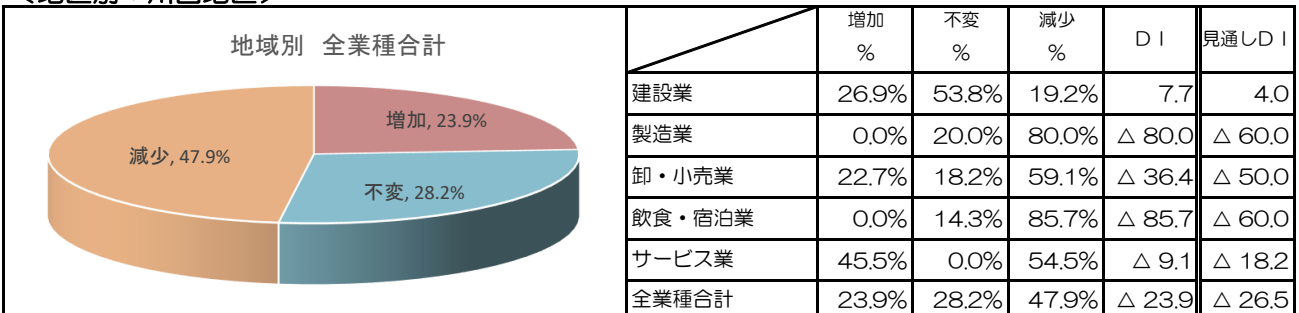
業種別売上の推移(市内全体)



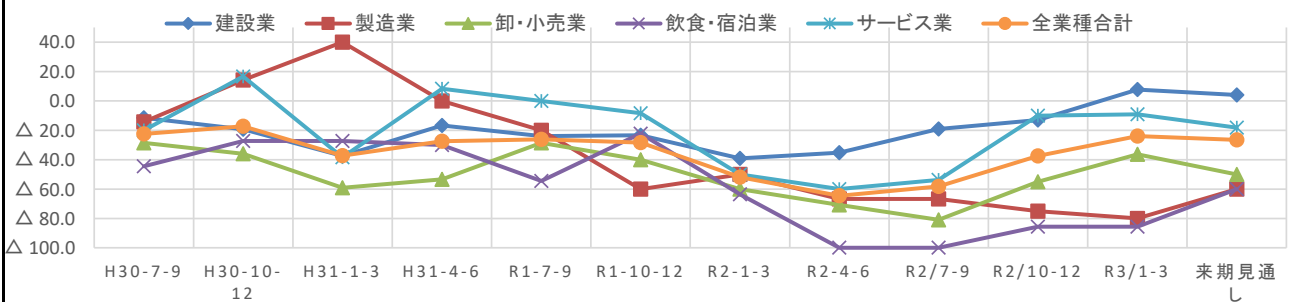
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△29.9ポイントで、前回調査時よりも8.7ポイント増加となっている。製造業以外の業種にて増加となっており全体の値を引き上げている。来期見通しでは製造業、飲食・宿泊業、サービス業にて増加予測されているが、建設業と卸・小売業にて減少予測があり、全体DI値では今期よりも減少となっている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移(地区別)



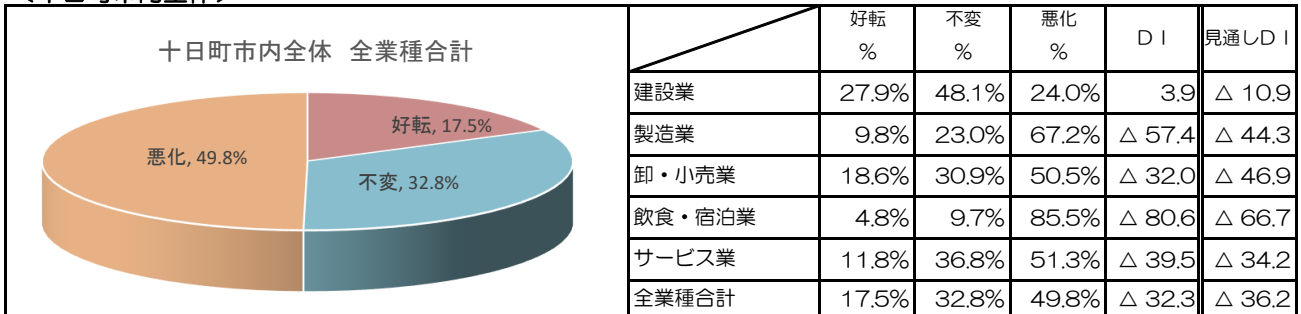
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で、△23.9ポイントとなっており、前期と比較して13.6ポイント増加している。建設業、卸・小売業で売上が増加したことにより、全体の数値が前期より増加しているが、製造業、飲食・宿泊業では、依然コロナウィルスの影響が見受けられる。来期の売上は△26.5ポイントで、今期よりも減少する見通しとなっている。

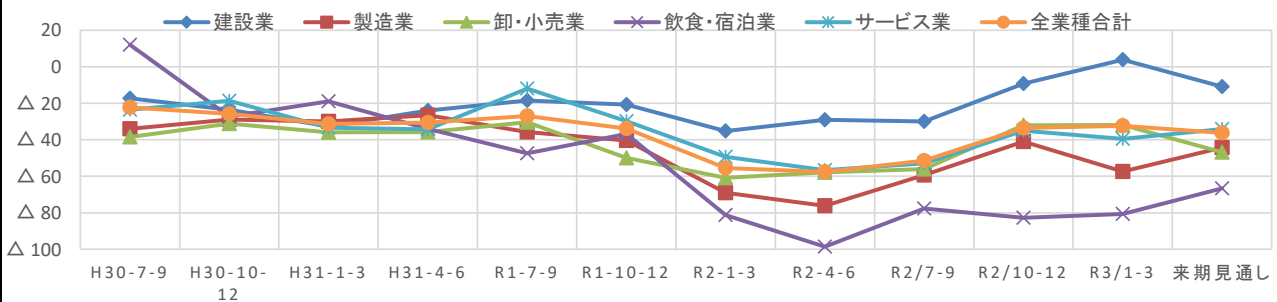
2. 採算について

- 1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



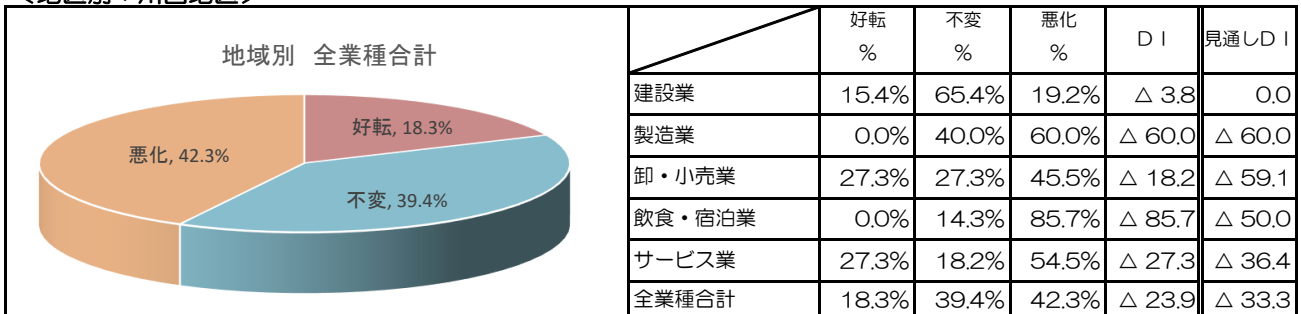
業種別採算の推移(市内全体)



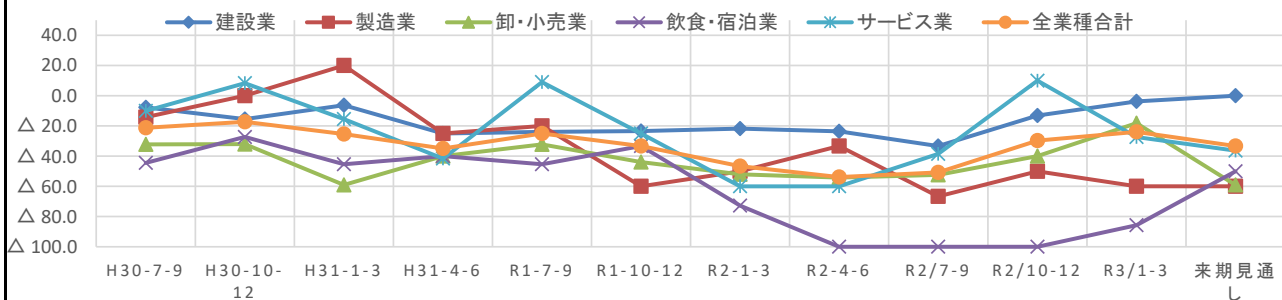
<コメント>

十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△32.3ポイントで、前回調査時よりも1.3ポイント好転している。製造業とサービス業にて悪化となっているが、建設業と飲食・宿泊業の好転により全業種DIの値となっている。来期見通しでは、建設業と卸・小売業にて今期よりも悪化予測されているが、その他の業種で好転予測があり、全業種で見れば大きな変化は無いものと思われる。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



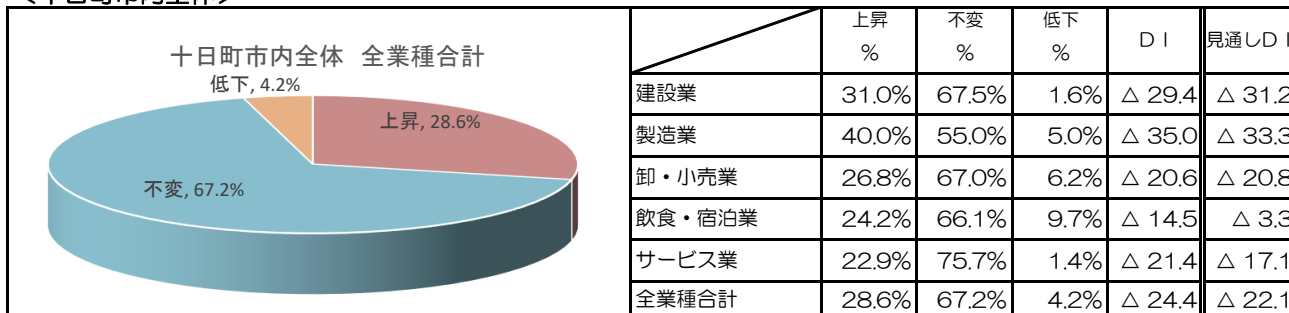
<コメント>

川西地域の採算性は、全業種で△23.9ポイントで、前回調査時と比較して5.8ポイント好転している。前回調査時と比較すると、サービス業、製造業で悪化が見られたが、その他の業種では好転している。また、来期の見通しは全業種で悪化する見通しとなっており、特に製造業、卸・小売業の採算性が大幅に悪化する予測である。

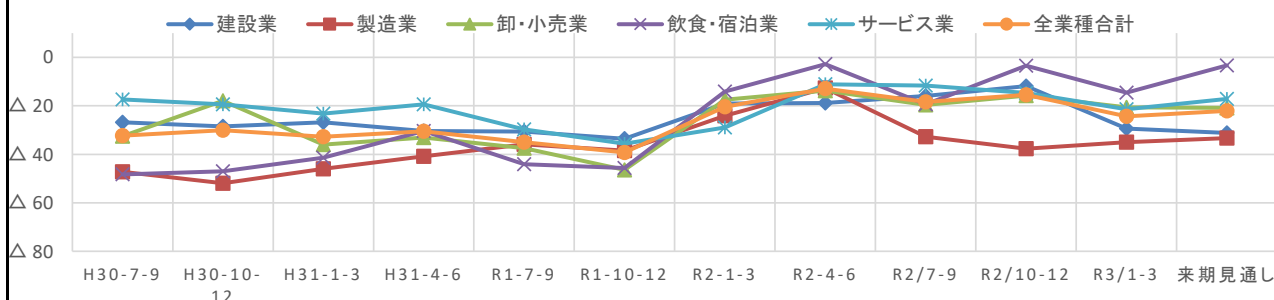
3. 仕入単価について

- ・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



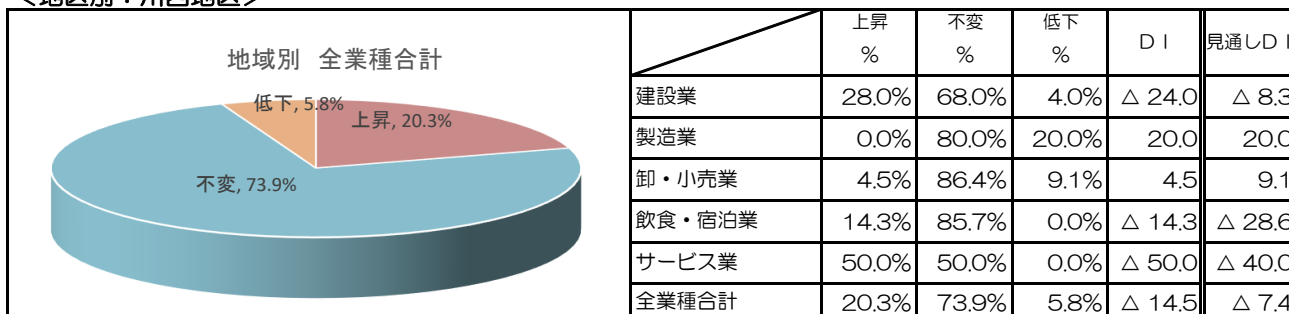
業種別仕入単価の推移(市内全体)



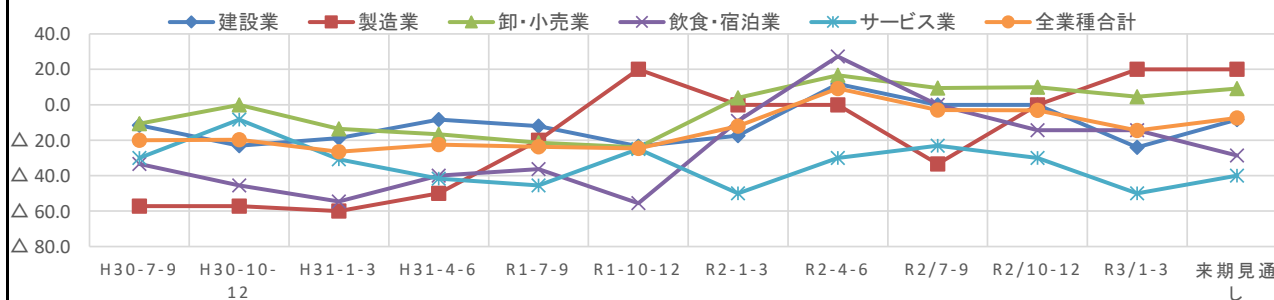
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価の状況は、全業種DI値で△24.4ポイントで、前回調査時よりも8.9ポイント上昇している。製造業にて低下が見られたものの、その他の業種は上昇となっている。ただし、不変回答が半数以上を占めていることから、大きな変動は無いものと推測したい。来期見通しにおいても今期と大きな変動は無いものと思われる。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



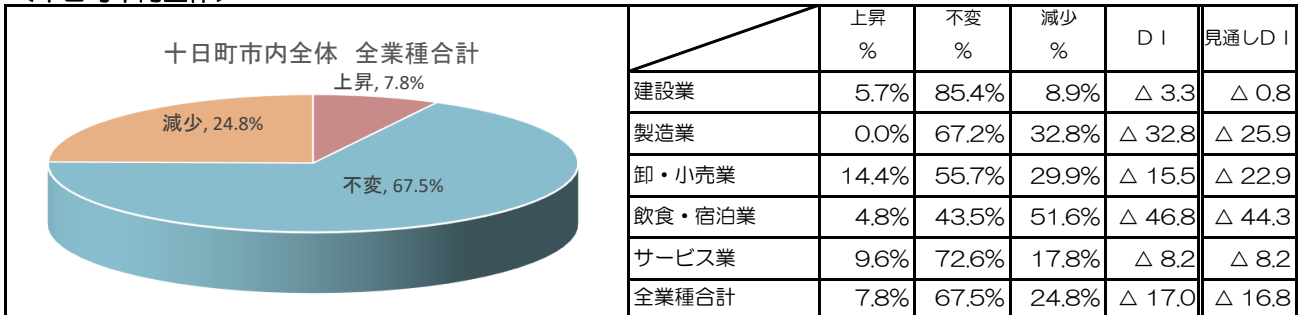
<コメント>

川西地域の仕入単価は、全業種で△14.5ポイントで、前回調査時と比較して11.4ポイント低下している。製造業、飲食・宿泊業では上昇しているが、その他の業種で低下している。来期見通しは、飲食・宿泊業では低下予測となっているものの、その他の業種では上昇予測となっており、全体では若干の低下予測となっている。

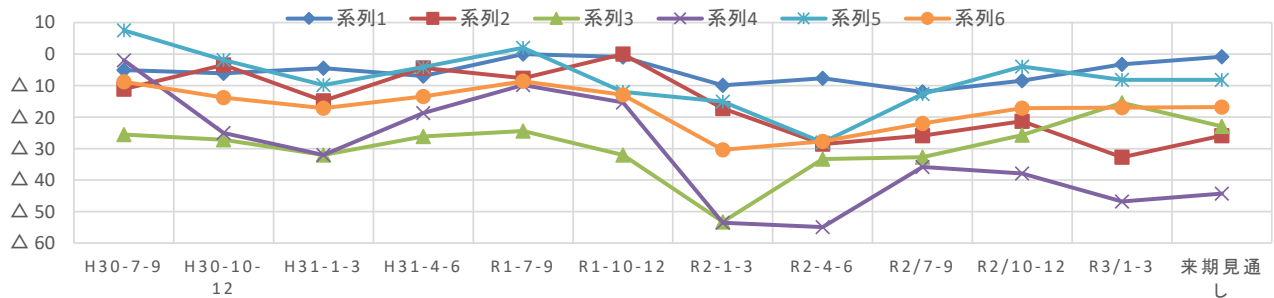
4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



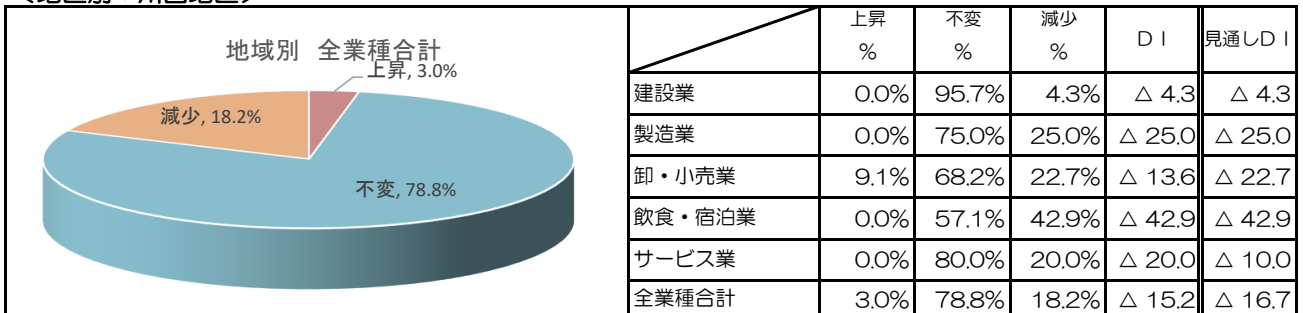
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



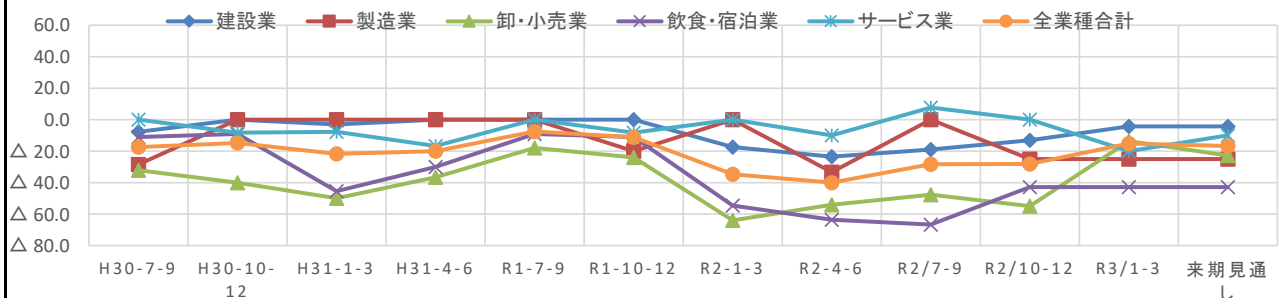
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△17.0ポイントで、前回調査時から0.2ポイント上昇している。製造業、飲食・宿泊業、サービス業にて減少が見られるが、建設業と卸・小売業にて上昇があり、全業種では前回調査時とほぼ同様の数値となっている。来期見通しにおいても、大きな変動は無いものと思われる。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



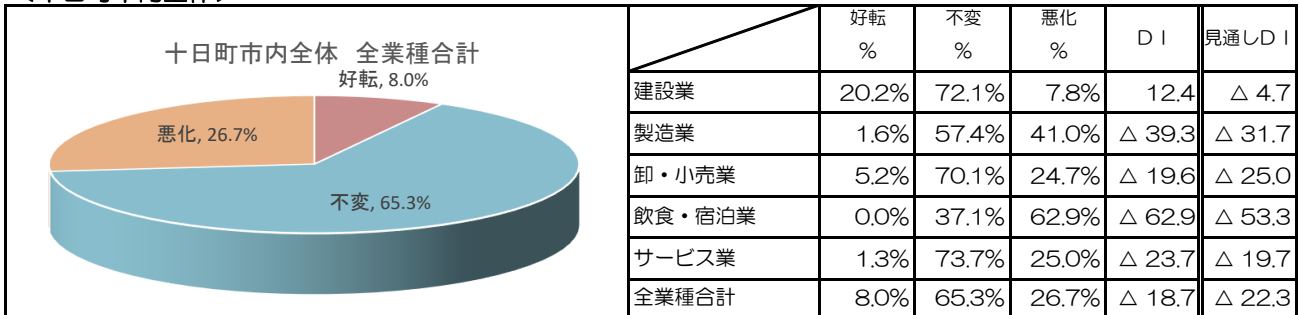
<コメント>

川西地域の今期の販売（客）単価は、全業種で△15.2ポイントで、前期と比較して12.9ポイント上昇している。卸・小売業にて大幅に上昇したことより、数値が引きあがっている。また、来期の見通しについては、今期から大きな変動はないものと思われる。

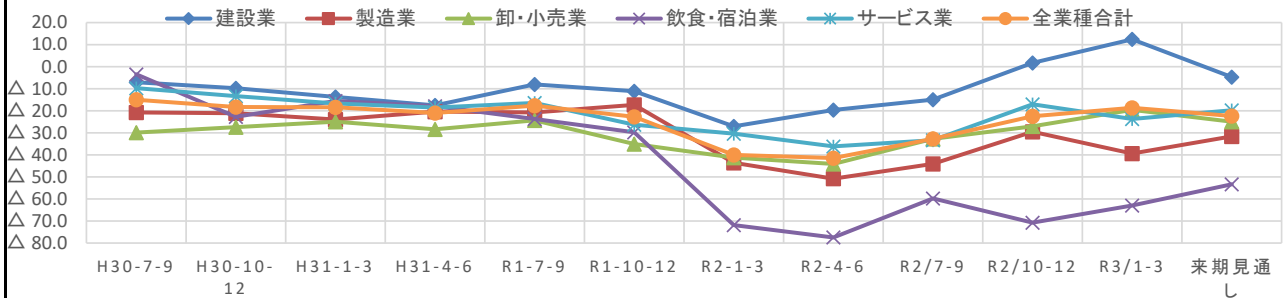
5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



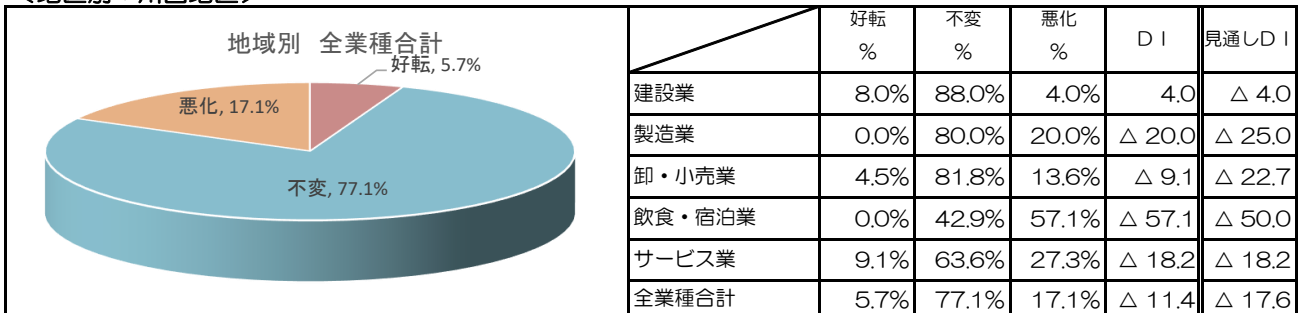
業種別資金繰りの推移(市内全体)



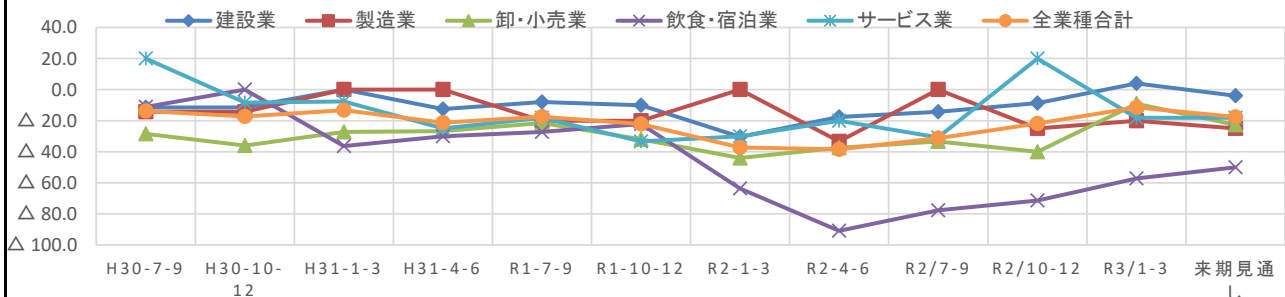
<コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△18.7ポイントで、前回調査時よりも3.7ポイント好転している。製造業とサービス業にて悪化しているが、その他の業種で好転している。来期見通しでは建設業と卸・小売業で悪化予測があるものの、その他の業種は今期よりも好転予測があり、全業種では大きな変動は無いものと思われる。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



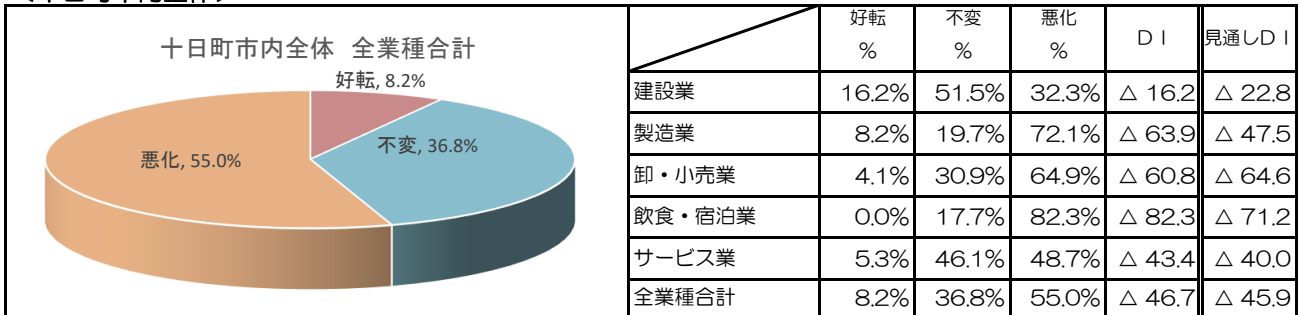
<コメント>

川西地域の今期の資金繰り状況は、サービス業では悪化しているが、その他の業種が好転していることから、全事業所では前回調査と比較して10.5ポイントの好転になっている。また、来期見通しでは、飲食・宿泊業で好転予測が出ているが、建設業、製造業、卸・小売業で悪化の予測となっており、全業種では大きな変動はないと思われる。

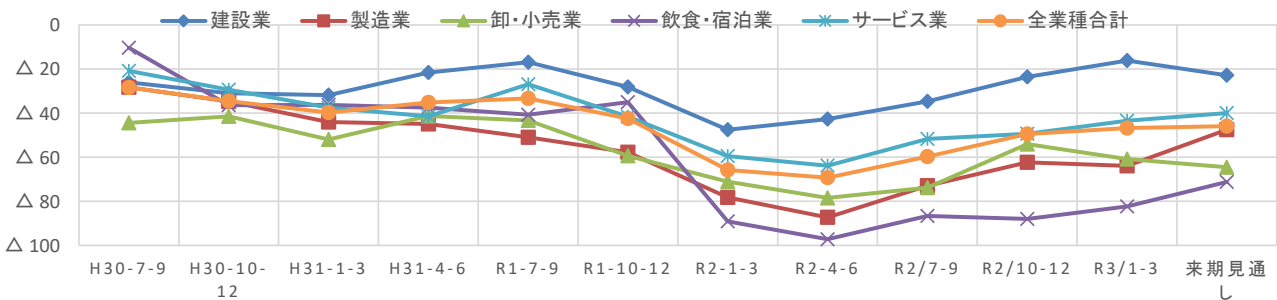
6. 景況判断について

- ・ 1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



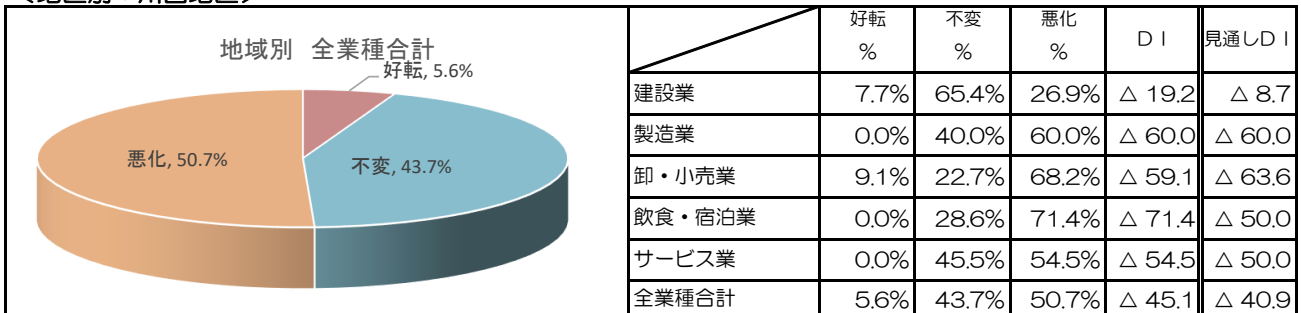
業種別景況判断の推移(市内全体)



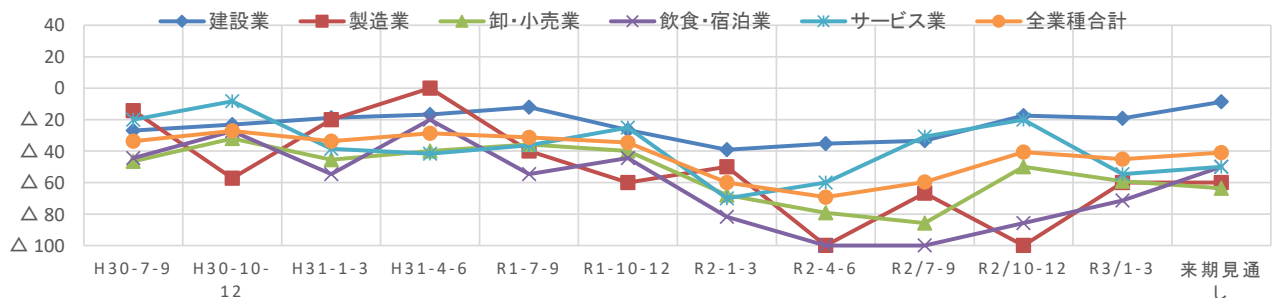
<コメント>

十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△46.7ポイントで、前回調査時よりも2.8ポイント好転となっている。製造業と卸・小売業で悪化となっているが、その他の業種は好転を示している。来期見通しは、建設業と卸・小売業で今期よりも悪化予測されているものの、その他の業種で好転予測されており、全業種では若干の好転予測となっている。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



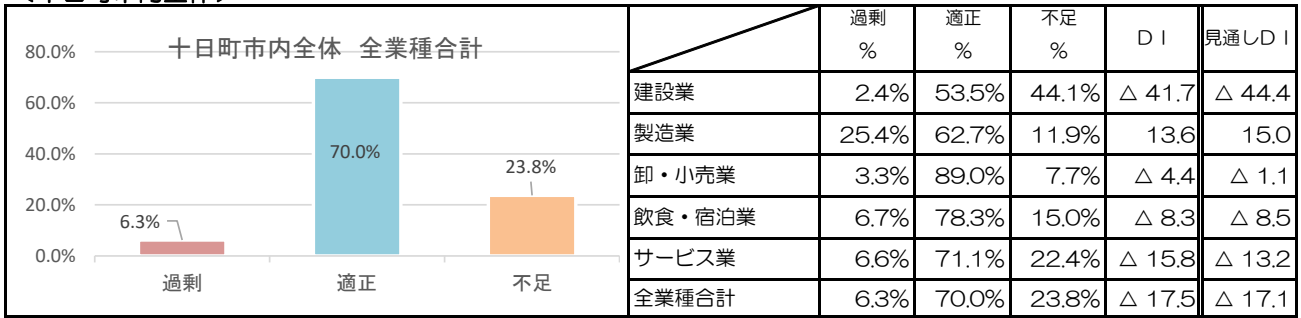
<コメント>

川西地域の景況判断は、全業種では△45.1ポイントで、前期と比較して4.5ポイント悪化となった。製造業、飲食・宿泊業で好転となっているものの、サービス業、卸・小売業で悪化となっている。来期の見通しは、卸・小売業、製造業で悪化予測となっている一方で、その他の業種で好転予測が示されており、全体では若干の好転予測となっている。

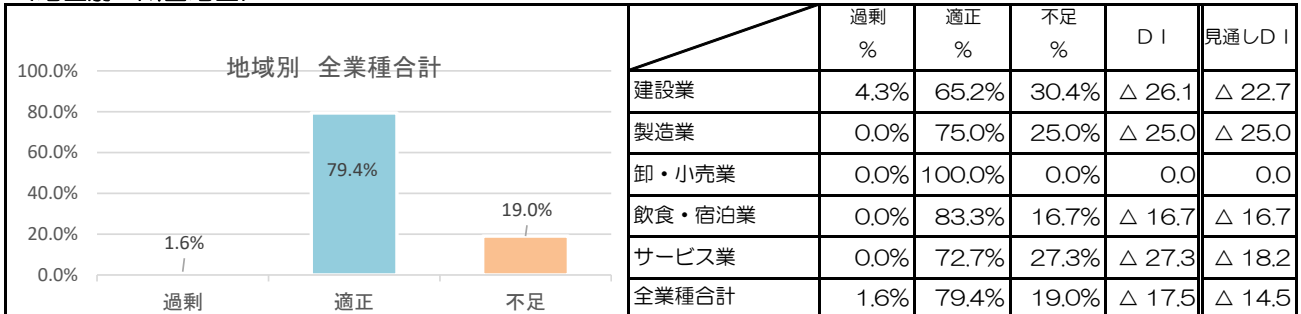
7. 従業員数について

・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

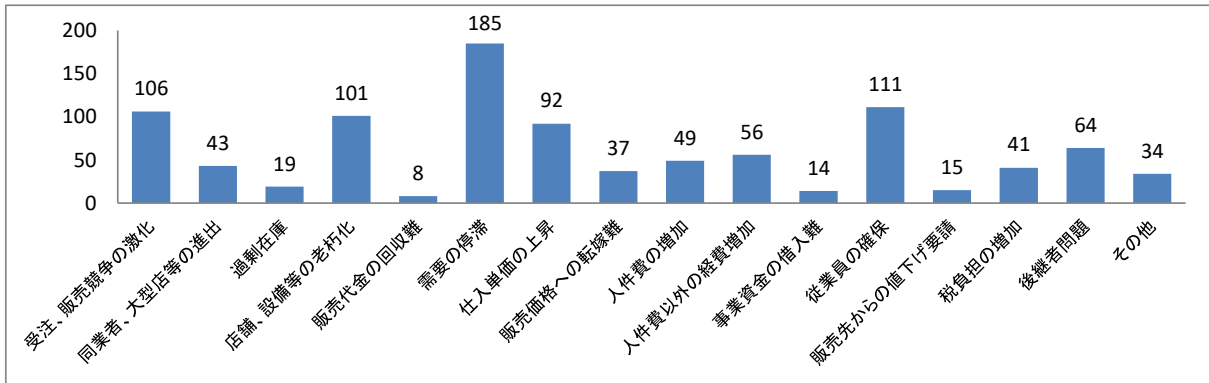


<コメント>

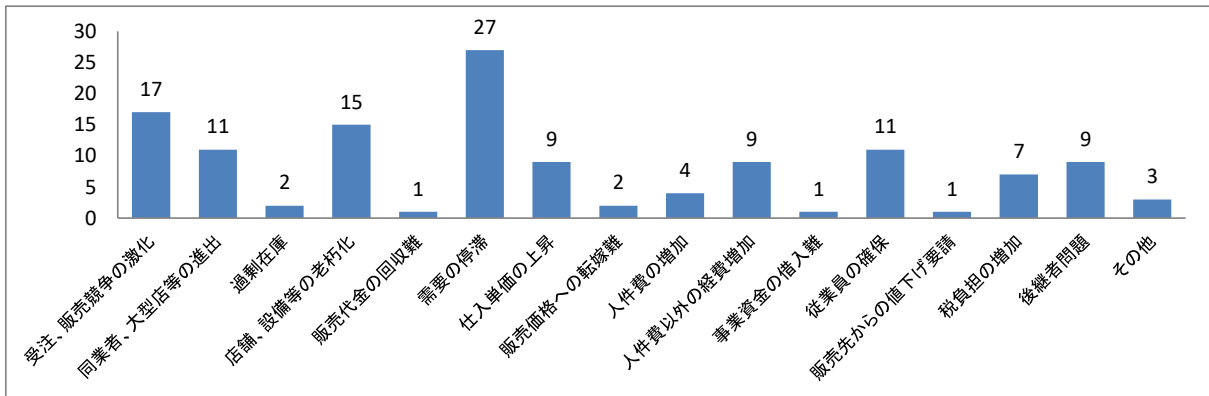
今期の従業員数（雇用動向）は、過剰回答が1.8%、不足回答が1.6%前回調査時よりも増えている。川西地区の状況は、過剰回答が1.6%、不足回答が19.0%となっている。特に、建設業、サービス業で不足回答が多く従業員の確保が課題となっている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：1月～3月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、3位と4位の順序が変わったが、1位から4位までの内容は同じであった。5位の「仕入単価の上昇」が前回調査時よりも急激に多くなっている。川西地区の経営上の問題点の上位3点は前回調査時と同様で、1位「需要の停滞」、2位「受注、販売競争の激化」、3位「店舗、設備等の老朽化」であった。

9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

<p>【建設業】 建設業においては、雇用動向の悪化回答が多く、これまでと同様「従業員の確保」が大きな課題となっているようである。また、仕入単価にて上昇回答も見られ、仕入れ単価の上昇についても課題の一つとなっていると思われる。その他の経営上の問題点として、「受注、販売競争の激化」「需要の停滞」が上位に上がっている。</p>
<p>【製造業】 製造業においては、全般的に好転回答が無く、特に売上については大きな減少が示されている。その一方で、仕入単価については若干低下している事業者が伺える。経営上の問題点については、「需要の停滞」を挙げる事業所が急増しており、回答事業所の8割が課題としている。その他、「店舗、設備等の老朽化」、「受注、販売競争の激化」、「過剰在庫」、「人件費以外の経費増加」が挙げられ、「需要の停滞」以外にも多方面で課題を抱える事業所が多いようである。</p>
<p>【卸・小売業】 卸・小売業においては、景況判断に大きな悪化が示され、来期見通しでも改善の予測が見られなかった。経営上の問題点としては、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「後継者問題」が挙げられている。特に、「需要の停滞」や「受注、販売競争の激化」を挙げた事業所の数が増加している。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 飲食・宿泊業においては、売上で減少回答が多く見られ、来期見通しでも増加予測の回答は見られなかった。コロナウイルス感染症による影響が大きいものと思われる。また、経営上の問題点として1位「店舗、設備等の老朽化」2位「需要の停滞」3位「仕入単価の上昇」、「人件費以外の経費増加」、「事業資金の借入難」が挙げられた。</p>
<p>【サービス業】 サービス業においては、仕入単価について前期と比較して大きく上昇していることが伺える。また、資金繰りにも大きな悪化が見られており、来期見通しについても好転予測は見られなかった。経営上の問題点については、1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店舗の進出」3位「店舗、設備の老朽化」、「仕入単価の上昇」が挙げられている。「需要の停滞」については、前回調査時よりも感じている事業所が多く、今回調査で回答を得られたサービス業の約半数が経営上の問題点として挙げている。</p>